

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 2/9)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央西向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央西向)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時時刻	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
	平成24年2月6日 8時44分 ~ 10時44分						
	平成24年2月6日 8時44分 ~ 10時44分				平成24年2月6日 11時03分 ~ 13時03分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	6.7E-06	0.00	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E- とは、 ． × 1 0 ˆ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm3、Cs-134が約7E-6Bq/cm3、Cs-137が約8E-6Bq/cm3。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm3、Cs-134が約4E-6Bq/cm3、Cs-137が約5E-6Bq/cm3。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約：2/9)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央北向)						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成24年2月6日 11時03分～13時03分					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	8.2E-06	0.00					2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-05	0.00					3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E - とは、 ． × 1 0 ˆ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm3、Cs-134が約7E-6Bq/cm3、Cs-137が約8E-6Bq/cm3。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm3。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。